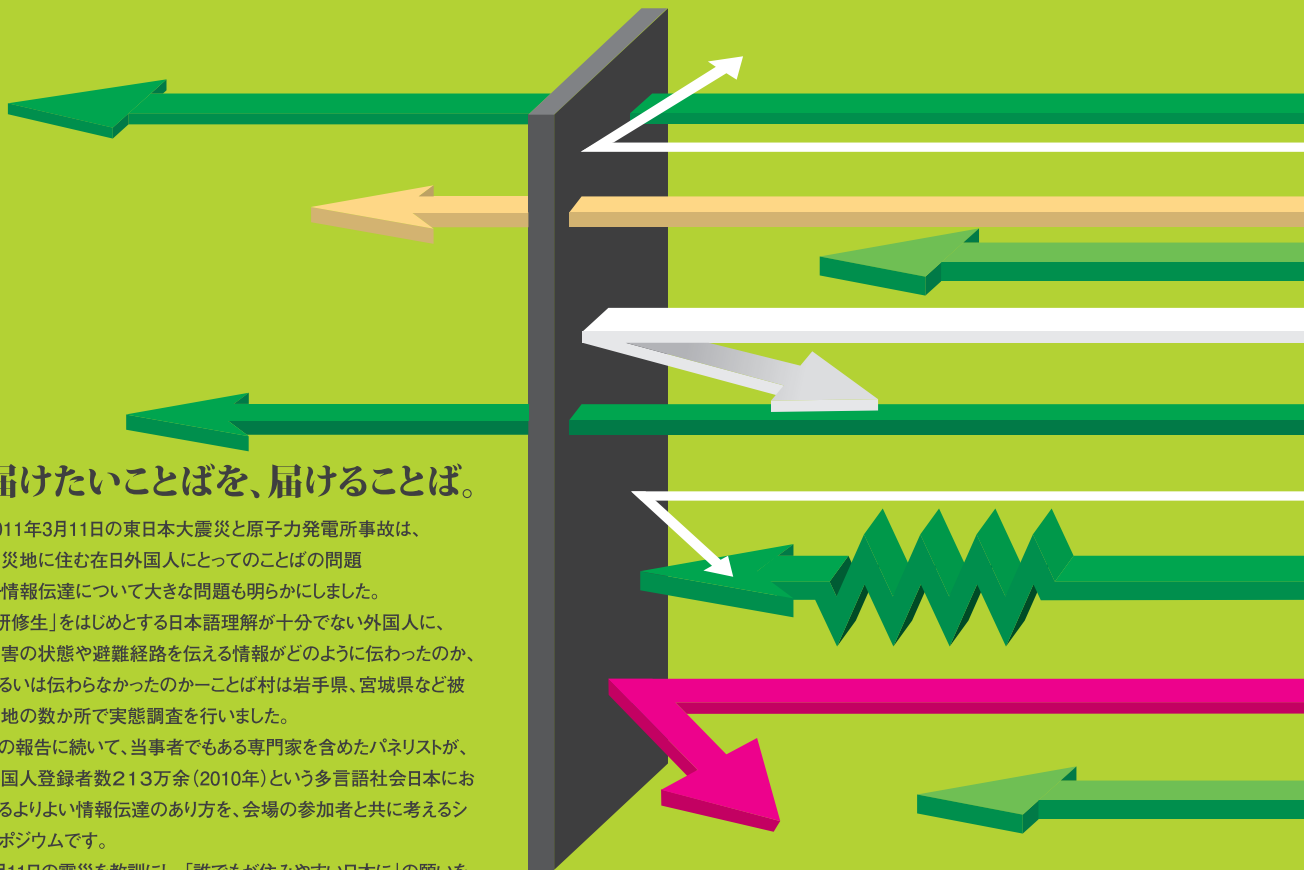


ことば村シンポジウム

# 多言語社会 日本

MULTILINGUAL SOCIETY JAPAN

## 災害情報はどのように伝えられたか 「多文化社会日本のメディア環境と課題」



### 届けたいことばを、届けることば。

2011年3月11日の東日本大震災と原子力発電所事故は、被災地に住む在日外国人にとってのことばの問題—情報伝達について大きな問題も明らかになりました。「研修生」をはじめとする日本語理解が十分でない外国人に、災害の状態や避難経路を伝える情報がどのように伝わったのか、あるいは伝わらなかったのか—ことば村は岩手県、宮城県など被災地の数か所で実態調査を行いました。その報告に続いて、当事者でもある専門家を含めたパネリストが、外国人登録者数213万余(2010年)という多言語社会日本におけるよりよい情報伝達のあり方を、会場の参加者と共に考えるシンポジウムです。3月11日の震災を教訓にし、「誰でもが住みやすい日本に」の願いをこめて、多くのかたの参加・ご意見をお待ちしています。

2012年2月20日までに下記宛先へ  
Eメールあるいは電話でお申し込み下さい

申込

**03-5798-2828**

info@chikyukotobamura.org

\*当日参加は座席に余裕があれば可能です。

[日 時] 2012年2月25日(土) 13時~17時

[参加費] 無料

[定 員] 90名

[会 場] 国際交流基金ホールJFICホール「さくら」  
東京都新宿区四谷4-4-1 03-5369-6075

パネリスト

周飛帆 千葉大学言語教育センター准教授  
李善姬 東北大学国際高等教育機構助教  
日比野純一 「f mわいわい(神戸)」代表  
米倉律 NHK 放送文化研究所メディア研究部主任研究員

司 会 井上逸兵 慶應義塾大学文学部教授

プログラム

- ① 在日外国人への情報伝達の調査報告 (福島県・宮城県・岩手県) ことば村スタッフ
- ② パネルディスカッション パネリスト
- ③ 全体討議 パネリスト・参加者
- ④ まとめ 司会